

ニンジンの上手な育て方講座

① 土づくり（1㎡あたりの量）

- ・石 灰 200g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておくとうい
- ・牛糞堆肥 6リットル
- ・肥料 100g

※用意できれば最高です！

- ・完熟鶏糞 300g
- ・魚 粉 100g
- ・油かす 100g

※魚粉はニンジンを甘くし、油かすはニンジンの色つやを良くします。

② 種まき

- ・新潟では7月～8月上旬に種まきを行います。
- ・ニンジンは大根やカブと同様に、移植ができないので、種から育てます。
- ・種をまく前に、土をよ～く耕し、やわらかい土を作っておきます。土の中に堆肥のかたまりや石があると「ふたまた」に分かれることがあります。
- ・高さ20cmの畝を作ります。
- ・畝幅50cm程度の畝を作れば、種をまく列の間隔を30cmあけて、二列で栽培ができます
- ・畝に支柱を寝かし、1cm程度の深さの溝を作ります。
- ・溝に1cm間隔で種をまいていきます。
- ・ニンジンの種は「好光性種子」といい、日光を好むので、種をまいた後は薄く土をかけます。
- ・種は鳥の大好物で狙われます。発芽するまでは不織布で覆うと良いです。
- ・芽が出るまでは土を乾燥させないように、毎日水やりをしましょう。

③ 間引き・土寄せ・追肥

- ・間引き1回目…発芽後、双葉が開いたら、3cm間隔にします。※種まきは1cm間隔でしたよ。
- ・間引き2回目…本葉が3～4枚になったら、6cm間隔にします。
この時に、株元に一つまみ程度追肥をし(30g/㎡)、土寄せをします。
- ・間引き3回目…本葉が6～7枚になったら、12cm間隔にします。
この時に、株元に一つまみ程度追肥をし(30g/㎡)、土寄せをします。

※間引きとは？ → 苗を抜くことです。せっかく出てきた苗を抜いてしまうのは、かわいそうだと思いますが、成長させるために心を鬼にして、間引いてください。

④ 収穫

- ・新潟では11月以降に収穫期を迎えます。
- ・土の上に出てきている部分が5cmくらいになったら、収穫適期です。
- ・葉の根元をもって、まっすぐ上に引いてください。

【留意点】

- ・一般的なニンジンは栽培期間が120日程度かかりますが、ミニニンジンなら70日程度で収穫が可能ですので、両方植えると収穫時期がずれて、楽しいですよ♪